

## 第106回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成23年12月15日(木)
- |       |            |           |
|-------|------------|-----------|
| 12:00 | 第106回総務委員会 | 鉄鋼会館 806  |
| 15:00 | 経産省ヒアリング   | 経産省会議室 6F |
| 16:30 | 業界紙記者と懇談   | 当組合事務所    |

### 2. 第106回総務委員会

出席者

吉里 勉 (理事総務委員長)  
高木 建 (理事長)  
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)  
林 光雄 (副理事長・東海支部長)  
木村昭夫 (副理事長・九州支部長)  
柘野 (事務局)

議 題

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (2) 平成24年新年賀詞交歓会の開催要領について
- (3) 次期(37期)通常総会の開催場所について
- (4) (社)日本溶接協会・溶断小委員会への参加会社について
- (5) 今後の会合予定について

経 過

吉里委員長の司会により議事が進められた。

#### (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、了承された。

(資料は別項参照)

#### (2) 平成24年新年賀詞交歓会の開催要領について

来年の鉄鋼流通団体合同の賀詞交歓会は、24年1月13日(金)17時より、ロイヤルパークホテル3Fで開催される。今回の幹事団体は、輪番により当工業組合が担当する。12/15現在の出席予定者数は、前回並みの約620名(招待者45、賛助会員110、組合員465)。

交歓会次第は、①主催者挨拶/高木理事長、②来賓祝辞/塩田鉄鋼課長、③乾杯挨拶/内田鉄鋼産業懇談会会長。④中締め挨拶/酒匂東京支部長。司会は吉里理事総務委員長にお願いすることとなった。

**(3) 次期(第37期)通常総会の開催日時・場所について**

次期通常総会の開催日及び場所については、去る10月27日(木)開催の第90回理事会に諮り、開催日は平成24年5月18日(金)～19日(土)で了承された。開催場所については、当委員会案としては、前36期総会の開催予定地で、3月大震災により中止となった「高知市」を提案したが、決定に至らず、再度、全組合員に対しアンケートを実施し、意見を聞くこととなった。

◎アンケート結果は以下の通り。

- ・対象社数：組合員171社
- ・回答社数：102社
- ・回答内訳：「高知市で良い」74社、「東北を希望」5社、「東京等を希望」6社、「総務委員会に一任等」17社。

以上のように、「高知市で良い」が全体の73%を占めた。

この結果を踏まえ、種々検討した結果、来年の当組合総会は、高知市で開催することが決定した。

**(4) (社)日本溶接協会の溶断小委員会への参加会社について**

標記溶断小委員会についても、アンケートにより、全組合員を対象に、参加意思の有無を確認した結果、以下の13社(既参加会社3社、新規参加会社10社)が参加することとなった。

- ①(株)富士鉄鋼センター(従来から参加)
- ②JFE鋼材(株)(従来から参加)
- ③神鋼鋼板加工(株)(従来から参加)
- ④(株)産鋼スチール(新規参加)
- ⑤京浜産業(株)(新規参加)
- ⑥(有)ティー・エル・シー(新規参加)
- ⑦森田産商(株)(新規参加)
- ⑧(株)石原商事(新規参加)
- ⑨リバーズチール(株)(新規参加)
- ⑩三和鐵鋼(株)(新規参加)
- ⑪北鋼シャーリング(株)(新規参加)
- ⑫太陽シャーリング(株)(新規参加)
- ⑬自見産業(株)(新規参加)

**(5) 今後の会合予定について**

本誌1ページに掲載の「会合予定表」をご参照ください。

### 3. 4Q経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

塩田鉄鋼課長、葛岡課長補佐、石神係長他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、林東海支部長、木村九州支部長、  
吉里理事総務委員長、柘野（事務局）

経過

最初に、高木理事長より、「建機向けは足元絶好調で、底這ばっていた橋梁・建築向けにも回復の動きが出ており、需要環境は好転しつつある。ただし、建設需要がシャワーの仕事に繋がるまでには1期ないし半期のタイムラグがあり、この間の対応が問題である。切板需要の過半を占める建設関連需要は、鉄骨需要量は前年度並みの420万～430万ト程度、橋梁需要量も横ばいの28万ト程度が見込まれる。橋梁の入札は3Qから出始めており、首都圏の大型建築案件も来期以降期待できる。

行政当局には引き続き内需喚起のための重点施策を途切れることなく打ち出していただきたい。」との挨拶があった。

続いて、各支部長から地区情勢報告があった後、鉄鋼課より、「震災復興需要はいつ頃から本格的に出てくると思うか。」、「韓国材の入着が急増しているが、価格的にはかなり安いのか。」、「ユーザーから一緒に海外に行ってくれと言った誘いはないのか。」等の質問が出され、種々意見が交換が行われた。

以上